

P8310794.JPG 2019/04/07

明治元年十月十二日より明治元年十月十七日まで

P8310794right

抱屋敷讓渡願書等の儀に付、小梅村役人示しに随い、其筋役方(向山御□)吉野吉十郎方へ問合として休左衛門遣処

在勤留守の趣にて、同所差函を以、本郷丸山六川(武川与五郎)某方へ行処、是又不在にて明後日を約して帰り来る、吉村

栄之進(大塚媪(*)の孫也)来り、蒸菓子一折持来、駿府出立の告別にて、且先達て媪へ投物の謝也、増・蒲・升沢

広吉事孫三来り、上総行の節随従の儀、□敷ふ定の旨、尤猶近日に来りし旨也不面

十三日辰 晴 無記事

十四日巳 晴

一昨約により六川某方へ抱屋敷讓渡の儀問合に遣し、菓子料を投ず来る十七日迄に書類取調呉□也、右の趣は幸便(墨邸門番)を以、渡辺伴方へ申通じ旨、長屋へさし□成毛某今日引払趣に付、初て面す、旧中小姓金蔵来る、岡本せき小品持来、一杯を取らせ、鍬兒次郎並恵女

P8310794left

を携坂本墓に来、帰途酒飯を喫して□を買て帰る、藤・山陽来りし旨

十五日午 薄晴

松盛煮告別に来り、む川の□一折□□□を贈らる、旧婢とみ礫川同行□来る何れも在産の品持来午飯を勧む、礫川より兩人荷造りくる、小品大ふく□来る、旧婢たか告別に来る、小

品(蒸菓子、柿)持来、前内

より家族出立随従として忠奴を屈越呉、且富沢叔母雁書持来(稚実を贈らる)、礫川兩人全家面々一同へ夕飯を勧む

十六日未 晴漸陰

長屋へ差□虔士良助今日引払の旨申聞る、鍬兒並恵兒を携え丸山駒込両墓来帰途茶店にて茶菓を喫せしむ、礫姑並長来り、荷しらべ等いたし□旨

十七日申 薄晴

*二媪(おう)老女

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。